

阪急電鉄と梅田芸術劇場がエンタテインメントの新たな拠点を JR 東京駅前に設けます
～ 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業において劇場を新設 ～

このたび、阪急電鉄が、八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業^{※1}（以下、本事業）の再開発ビルにおいて、劇場床の区分所有権を取得し、最新の設備を備えた約1,300席の劇場を新設するとともに、梅田芸術劇場（阪急電鉄の100%子会社）が本劇場の運営を担うことになりましたので、お知らせします。

本事業は、高い交通利便性を有するJR東京駅前の八重洲エリアで進められており、都内有数の規模となる敷地（約2ha）に、JR東京駅前では最大級の延床面積（約39万㎡）を誇るミクストユース型のビルを開発する大規模プロジェクトであります。オフィスや商業施設に加え、劇場、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、バスターミナルなどが整備されることになっており、ビルの竣工は2029年1月末の予定です。

〔※1 八重洲二丁目中地区市街地再開発組合と参加組合員6社（鹿島建設株式会社、住友不動産株式会社、独立行政法人都市再生機構、阪急阪神不動産株式会社、ヒューリック株式会社、三井不動産株式会社）で推進されている東京駅前八重洲エリア最大級の再開発事業〕

阪急電鉄は、現在、3つの宝塚歌劇専用劇場^{※2}と2つの劇場^{※3}を有しており、このうち大阪梅田にある2つの劇場については、梅田芸術劇場が長年にわたり運営を担い、ミュージカルや演劇の自主制作も行っていました。今般、JR東京駅前に新設する本劇場では、これら5館の劇場経営・運営で培ったノウハウやネットワークを最大限に活用し、ミュージカルや演劇・宝塚歌劇・コンサートなど、世界にも発信できる上質な演目の上演を通じて、より多くのお客様に夢と感動をお届けしたいと考えています。また、JR東京駅前という最高の立地を活かして、国内外から幅広くお客様をお招きし、世界と日本を結ぶ新たなエンタテインメントの拠点となることを目指してまいります。そして、ご来場いただくお客様はもちろんのこと、出演者や公演関係スタッフを含め、この劇場に関わるすべての皆様からご愛顧いただける劇場となるよう努力を重ね、本エリアの賑わいの創出と芸術・文化の発展に取り組んでまいります。

なお、本劇場に関する具体的な内容につきましては、決定次第あらためてお知らせします。

〔※2 兵庫県宝塚市の「宝塚大劇場（2,550席）」と「宝塚バウホール（526席）」、東京都千代田区の「東京宝塚劇場（2,079席）」
※3 大阪市北区の「梅田芸術劇場（メインホール（1,905席）とシアター・ドラマシティ（898席）」〕

<イメージパース>



外観（有楽町駅側）



劇場ホワイエ（外堀通り側）

■劇場の概要

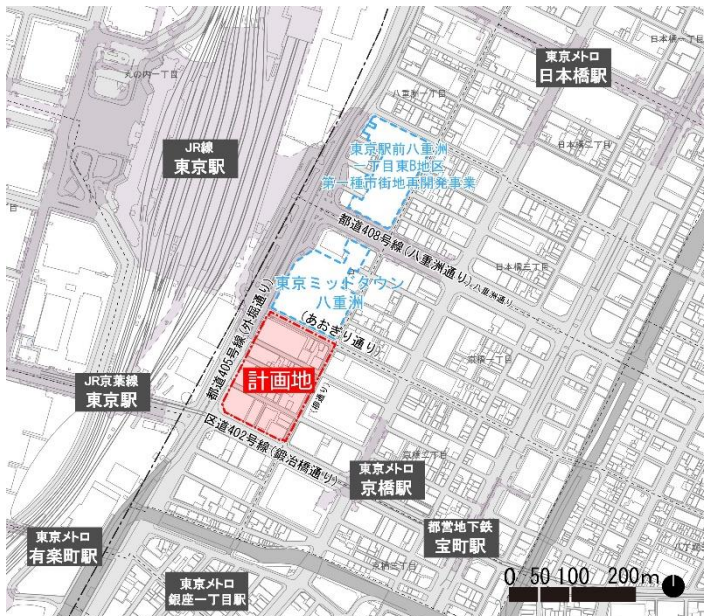
所在地 : 東京都中央区八重洲二丁目 4 番、5 番、6 番、7 番
階数 : 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業の 3 階から 6 階の一部
客席数 : 約 1,300 席 (予定)
開業時期 : 2029 年度 (予定)

■本事業の概要

事業名	八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業
施行者	八重洲二丁目中地区市街地再開発組合
所在地	東京都中央区八重洲二丁目 4～7 番
区域面積	約 2.2ha
敷地面積	約 19,560 m ²
延床面積	約 389,290m ²
主要用途	事務所、店舗、劇場、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、バスターミナル、駐車場等
階数・高さ	地上 43 階/地下 3 階、約 227m
設計・施工	・基本設計・実施設計監修・監理、都市計画・再開発コンサルタント / 株式会社日建設計 ・実施設計・監理 / 鹿島建設株式会社、有限会社空間創造研究所 (劇場・舞台設備) ・施工 / 鹿島建設株式会社
交通アクセス	JR「東京」駅八重洲口 (徒歩 3 分、地下直結) 東京メトロ銀座線「京橋」駅 (徒歩 2 分、地下直結) 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅 (徒歩 5 分) 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋」駅 (徒歩 8 分)
建物竣工	2029 年 1 月末 (予定)

※本建物は、東京都帰宅対策困難者条例に基づき、大規模災害の発生時には一時滞在施設としてご利用いただく計画となっております。

■位置図



「地理院地図」(国土院) をもとに作成
(https://maps.gsi.go.jp/#18/35.677434/139.767562/&base=pale&base_grayscale=1&ls=pale&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m)

以上